

## ナヲの子ども時代

たでぬま 蓼沼ナヲは、めいじ 明治4年(1871) かんがくしゃ 漢学者(※9) そうりよで僧侶の父

さとういちたろう佐藤市太郎と母マサヲの長女として やまがたけん山形県に生まれま  
した。

ナヲは子どもの頃ころから絵かを描くのが上手で、父はしょうらい将来、  
ナヲを絵描きかにしたいと考え、16才の時にせんだい仙台のいのうえとう井上東  
せん仙という画家の所へつ連れて行き、3年間絵の勉強をしまし  
た。

いのうえ井上先生は画家として、日本画・洋画と全てのジャンル  
で絵かを描くことができました。そのため、日本画から油絵  
の西洋画まで全て習うことができました。

※9 かんがくしゃ漢学者  
でんらい中国伝来の学問を研究する人

めいじ 21 年(1888)に<sup>よこはま</sup>横浜に出て油絵を始め、<sup>あしかが</sup>足利(※10)に  
帰っていた画家の<sup>たざきそううん</sup>田崎草雲(※11)に教えてもらおうと、家  
族で<sup>とちぎけん</sup>栃木県の<sup>さの</sup>佐野(※12)に<sup>うつ</sup>移り住みました。



油絵の勉強を  
始めるMO~!

※10 <sup>あしかが</sup>足利

<sup>げんざい</sup>現在の<sup>とちぎけんあしかがし</sup>栃木県足利市

※11 <sup>たざきそううん</sup>田崎草雲

<sup>えど</sup>江戸から<sup>めいじ</sup>明治にかけて<sup>かつやく</sup>活躍した<sup>なんそう</sup>中国の南宋画家

※12 <sup>さの</sup>佐野

<sup>げんざい</sup>現在の<sup>とちぎけんさのし</sup>栃木県佐野市